

令和2年度(2020年度)

管理事業名	保健推進事業				総合計画の 施策体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 1 健康づくりの推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1 保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	健康まちづくり室 (健康まちづくり室、保健センター、高齢福祉室)			
予算大事業名 保健推進事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健センター費(大事業)一般事務事業、保健推進事業 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健事業費(大事業)保健推進事業					
事業の目的と概要 【目的】「吹田市健康づくり都市宣言」のもと、市民一人ひとりの主体的な健康づくりの支援に向けて、健康づくりの普及・啓発を行い、また市民が積極的に健康づくりに取り組めるよう仕組みづくりを推進します。 【概要】・健康づくり活動推進(健康づくり活動を推進する事業に対する補助) ・保健センター総務(千里ニュータウンプラザ内保健センター南千里分館等の維持管理など) ・保健推進(健康教育の実施やすいた健康サポーターの育成・活用に関することなど) ・健康すいた21推進(市民の自主的な健康づくりを推進するための施策推進など) ・食育推進(食に関する意識の向上や食生活の改善による市民の健康の保持・増進) ・たばこ対策推進(受動喫煙防止や禁煙支援などたばこ対策の取組に関すること) など						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
健康に関する講演実施数	件	148	126	11	食育講演会等の健康に関する講演会の実施件数
禁煙治療費一部助成金届出数	人	88	66	81	禁煙治療費一部助成金制度の届出者数
禁煙治療費一部負担金交付者数	人	59	37	65	禁煙治療費一部助成金制度の交付者数
すいた健康サポーター養成数	人	225	230	230	すいた健康サポーターの累計養成者数
成果の説明	健康に関する意識の向上を図るため、食育等の健康に関する講演会の開催や、喫煙が循環器病等の様々な疾患の主要な原因であることを踏まえ、禁煙に関する啓発や治療費の一部を助成するなど、市民一人ひとりが健康づくりに自ら取り組めるための環境づくりに取り組んでいます。 なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、健康に関する講演会の実施数は減少し、また、すいた健康サポーター養成講座については未実施としたため、養成数の増減はありません。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	2,454	2,454
府支出金(経常費用充当)	-	149	17	△132
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	2,288	1,452	△836
経常収入 小計(a)	-	2,437	3,923	1,486
給与関係費	-	63,474	100,500	37,026
物件費	-	62,406	55,292	△7,115
維持補修費	-	18	210	192
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	37,442	31,758	△5,684
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	4,570	4,677	107
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	4,504	7,198	2,694
退職手当引当金繰入額	-	4,852	34,201	29,349
支払利息	-	6,883	6,326	△557
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	184,149	240,161	56,013
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	△181,712	△236,239	△54,527
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	△181,712	△236,239	△54,527
一般財源充当額	-	202,931	228,982	26,051
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	21,219	△7,256	△28,476

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金(経常費用充当)	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金及び健康的な生活習慣づくり点化事業補助金による2,454千円の皆増
給与関係費	令和2年4月1日付け組織改正に伴う月平均事務従事人数の増加による給与関係費の37,026千円の増
物件費	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、健康すいた21(第3次)の策定見直し等に伴う委託料等の7,115千円の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	2,437	3,923	1,486
行政サービス活動支出	-	177,949	205,353	27,404
行政サービス活動収支差額	-	△175,512	△201,430	△25,918
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	27,420	27,552	133
財務活動収支差額	-	△27,420	△27,552	△133
収支差額 合計	-	△202,931	△228,982	△26,051
一般財源充当額	-	202,931	228,982	26,051
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動収入 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等による1,486千円の増
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民の健康に係るコスト	平成30年度		円	市民の健康に係るコストは1人あたり637円となっております。(3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	令和元年度	373,978 人	492 円	
	令和2年度	376,944 人	637 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	32,057	34,750	2,694
未収金	-	-	-	地方債	26	26	△0
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	4,504	7,198	2,694
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	428	428	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	27,099	27,099	-
事業用資産	153,350	149,366	△3,984	固定負債	342,222	342,107	△115
有形固定資産	-	-	-	地方債	208	182	△26
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	150,249	146,693	△3,556	退職手当引当金	41,255	68,692	27,438
リース資産	3,101	2,673	△428	リース債務	2,673	2,245	△428
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	298,086	270,988	△27,099
無形固定資産	76	76	-	負債の部合計	374,278	376,857	2,579
固定資産	-	-	-	純資産	△15,826	△23,082	△7,256
重要物品	5,027	4,333	△693	地方債	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期借入金	-	-	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	退職手当引当金	41,255	68,692	27,438
出資金	200,000	200,000	-	リース債務	2,673	2,245	△428
長期貸付金	-	-	-	その他固定負債	298,086	270,988	△27,099
基金	-	-	-	負債の部合計	374,278	376,857	2,579
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	△15,826	△23,082	△7,256
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	358,452	353,775	△4,677
資産の部合計	358,452	353,775	△4,677				

Ⅲ 財務構造分析

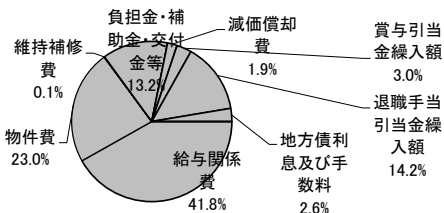
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	11.5人	日	日	141,899
給与関係費等	141,899千円	千円	千円	141,899
内、時間外勤務手当	2,753千円			

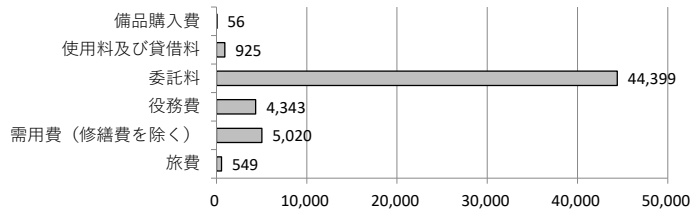
貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ(保健センター南千里分館)の減価償却による3,556千円の減
リース資産	保健センターリース車両の減価償却による428千円の減
重要物品	千里ニュータウンプラザ(保健センター南千里分館)設置の歯科健診台の減価償却による693千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	千里ニュータウンプラザ
取得年月日	平成24年6月1日
建物・工作物の取得価額	177,810千円
建物・工作物の減価償却累計額	31,117千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	0.0	0.1	0.1
施設老朽化比率		-	15.5	17.5	2.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	98.8	98.3	△0.5
経常費用対公共資産比率		-	103.6	135.1	31.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・市民一人ひとりの主体的な健康を増進するためのコストは、給与関係費が100,500千円(41.8%)、物件費が55,292千円(23.0%)、負担金・補助金・交付金等が31,758千円(13.2%)となっています。
 ・負担金・補助金交付金等の内、28,445千円については、吹田市健康づくり活動推進事業補助金となっています。
 ・事業の財源は、ほぼすべてが一般財源です。特定財源としては、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等の国庫支出金や会計年度任用職員の雇用保険本人負担分等です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

「健康日本21」等にもあるように、近年、国民の健康に関する意識の高まりを受け、国や府、他の自治体では様々な健康づくりの施策を進めています。本市では、健都を中心とした「健康・医療のまちづくり」を全市的に推進していくなかで、今後各種健診データを活用し、市民一人ひとりの健康増進を支援する仕組みづくりを進めるなど、一層充実を図っていく必要があるため、一定の職員体制強化が必要になるものと考えており、人件費が増加しやすい事業となっています。
 今後は、本市の健康課題や市民ニーズに沿った施策を展開するうえで、行動経済学等を利用し、自然と健康になれる取組について検討を行うとともに、施設の効果的・効率的な運営を図ります。